

会 議 結 果 の お 知 ら せ

第1回宮古市農業振興ビジョン策定委員会を次のとおり開催しました。

令和6年8月8日

農業振興ビジョン策定委員会

- 1 開催日時
令和6年7月18日（木） 午前9時30分～午前10時30分
- 2 開催場所
宮古市役所 2階 2-1会議室
- 3 議題
(1) 宮古市産業立市ビジョン等の策定方針について
(2) 現宮古市農業振興ビジョンの実績検証について
(3) その他
- 4 会議の概要
別添のとおり
- 5 問い合わせ先
産業振興部農林課農政係 電話0193-68-9094

第1回宮古市農業振興ビジョン策定委員会

1 出席者（8名）

川戸善徳、竹野牧子、門坂道弘、飛澤 隆、小林由紀子、上山則夫、久保田智治
吉濱未絵

2 欠席者（4名）

平賀昌晃、高田泰義、山崎安人、上坂喜和

3 事務局出席者（5名）

産業振興部長 岩間 健、農林水産振興次長 飛澤寛一、
産業振興部農林課長 巖岩邦行、産業振興部農林課農政係長 菊地政幸
同係 扇田正幸主査

4 傍聴者

なし

5 議事等

(1) 宮古市産業立市ビジョン等の策定方針について

宮古市産業立市ビジョン等の策定方針、策定スケジュール等について、事務局から説明した。

(2) 現宮古市農業振興ビジョンの実績検証について

現宮古市農業振興ビジョンの実績検証について、事務局から説明した。

(3) その他

宮古市農業振興ビジョン意見提出用紙について、事務局から説明した。
今後の農業振興ビジョン策定にあたり、意見交換を行った。

質疑応答内容

質問・意見	回答
【議題(1)「宮古市産業立市ビジョン等の策定方針について」】 (委員) 前回策定したビジョンに対し、産業振興部全体の柱というか、基本的な部分が変わっている可能性はあるのか。前回のビジョンの流れと全く関係のないような新たなビジョンの構成とするなど、全く別物になってもよいのか。 【議題(2)「現宮古市農業振興ビジョンの実績検証について」】 <質疑なし> 【議題(3)「その他」】 ・宮古市農業振興ビジョン意見提出用紙について <質疑なし> ・意見交換 (委員) 今回のビジョンの作成にあたり、本当に考えていかなければならないことは、担い手の育成がトップだと思う。農産物の生産拡大や特性を生かした農業より、担い手の育成がトップの項目となってほしい。 あとは、農産物の売り方をどうするかということと一緒に考えていきたい。 系統出荷では、時期での売額は大きいですが、通年となると担い手が生計を立てていくためには、地産地消で流通コストを少なく、手取りを多くすることが大事だと思う。	(事務局) これまでのビジョンの評価に基づいて、今後5年間のビジョンをどう作っていくか、様々な意見を会議で積み上げていく中で、農業ビジョンで重点的にやっていきたいものを拾い上げていきたい。 産業振興ビジョンを作り上げるうえで、現場の声を各委員会からお聞きしたい。 あまり形や形式にこだわらず、皆さんが取り組んでいること、取り組みたいことなどの意見を出していただきたい。 (事務局) 市民意識調査での「担い手が多く、盛んな農業」の項目を見ると、必要度、要求度も高く、農業に対する市民の期待度は大きい。 この「担い手が多く、盛んな農業」をどうイメージするか、この委員会の中で出していきたい。 稼ぐ農業、担い手の基盤整備、販売戦略など、いろいろあると思うので、委員会の中でいろいろと意見を出していただきたいと思う。

産直をもっと強化していけば、担い手が生活できる基盤ができると思う。

販売戦略の部分をビジョンに提言してもらえれば良いと思う。

(委員)

今の農業政策は、広く浅くというよりも1億円の農業をやるといふ人たちに特化していかなければならない時代だと思っている。

市や農協が投資する部分は、それなりの実績を上げられるような農業経営体を作るところに集中的に事業をもっていっても良いと思う。若い農業者が、もっと羽ばたけるような環境づくりをしなければ、これからは大変だと思う。

資材や賃金が高騰しているが、野菜の平均単価は上がっていない。ある程度のボリュームを持って農業経営を行う人を育てなければ、経済を回していけないと思う。

(委員)

情報発信を個人ではやっているが、宮古市としても、もっと情報発信をしていった方が良いと感じている。

宮古は、鮭まつりなど様々なまつりがありますが、農林課のまつりは無いというイメージである。せっかく、ブロッコリーで県内シェア60数パーセントと、宮古が一番出ているので、そういう野菜一品目でも出してイベントを開催することも農業者のPRにもなるし、宮古市全体のPRにもなって、もっと消費が増えると思う。

個人的には、自分で情報発信したい思いもあるが、宮古市全体を伸ばすのであれば、個人では力は弱い部分もある。

宮古全体で、何かイベント開催や農業体験会の開催とかやっても良いと思う。

(事務局)

宮古市は、市町村合併の影響もあり、浅く、少ない金額の補助事業がすごく多くなっている。例えば、農家で土地は守っているが、そういうところに投入していくというよりも、人を雇いながらでも大きくやっていきたいという人に投入しなければ、宮古市の農業が持たないと思う。

宮古市の方針として、決められれば良いと思う。苦情は多く出ると思うが、やらなければならない改革だと思う。

(事務局)

情報発信については、様々な農業者の方々がフェイスブック等で良い情報を発信している。

農業者の皆さんが発信しているものを市でもインスタグラムやフェイスブックで発信できないかということを考えている。

(事務局)

この計画書で情報発信を強化するという決め方をすればよいと思う。産業まつりの前身は、旧宮古市で農業まつりとしてやっていた。農業もいろいろな品種があり、一つだと辛いかもしれないが、農業生産を宮古市として発信することを、この計画書に載せれば、意見で終わらずに、実施できると思う。